

財形住宅預金申込書 ご記入例... ボールペンで出来るだけ
強くお書きください。

マンション等の場合は、部屋番号もお書きください。

ふりがなをつけてください。

1枚目、2枚目、3枚目、4枚目、5枚目に押捺ください。

ふりがな 氏名	キン ウツ タ ロウ	印
金融	太郎	
住 所	〒(103-) TEL (567-2000) 中央区日本橋本石町2-1-1 ○○マンション 305号	
生年月日	昭和 年 月 日 (年歳)	(45 才)

区分 非課税扱いの申告をする最高限度額	貯蓄先金融機関名 所在地 名 称	種 別 預 貯 金 最 高 限 度 額 百万 千 円 ○○ ○○ 支店 50000000			
既に非課税扱いの申告をしている最高限度額	名 称	5百万円まで非課税の適用が受けられます。なお、財形年金と両方に加入の場合は、財形年金の最高限度額と財形住宅の最高限度額を合計した金額が5百万円以内となるようご記入ください。			

初回預入日は、預入を開始される月の
給与支給日を記載してください。

お客様番号

財 形 住 宅

初回預入日	令和 年 月 日	1 7 25
毎月の預入日と額	25 日	500000 円
積立期限	(1) 5年以上とし、積立終了前に別途通知します。	
(いざれかを お選びくだ さい。)	2. 次のとおりとします。	
	令和 年 月 日	
	6 月 1000000 円	
賞与月と その預入額	12 月 1000000 円	
支払方法 (該当に ○印)	○ 費行(金庫・組合)および勤務先から借入れます 勤務先から借入れるとともに費行(金庫・組合)のあっせんにより他の金融機関から借入れます 住宅金融公庫または沖縄振興開発金融公庫から借入れるとともに勤務先から借入れます	
この預金の 限 度 額	百万 千 円	50000000

ご預金者申込事項控

ご預金者用

事業主あて

私は財形住宅預金をしたいので、天引預入依頼書に従い給与から天引して預入れていただきますよう依頼いたします。

なお、預入金額等を変更するときは、あらかじめ文書をもって届けます。

金融機関あて

私は下記の事項を確認するとともに、財形住宅預金規定にしたがって、財形住宅預金申込書により取扱うよう申し込みます。

また、この預金に関するいっさいの事項に使用する印鑑を届けます。

記

〔ご預金者確約事項〕

1. 預入方法

この預金は、財形住宅預金申込書記載のとおり初回預入日から5年以上の期間にわたって事業主が私の給与から天引し、私に代って預入れます。ただし、金額については、財形住宅預金預入依頼書等により別段の申し出をした場合には、それによってください。

2. 継続預入の取扱い

この口座に預入れる各々の預金（利息を含む。以下「預入金額」という。）は、特に申し出をしないかぎり満期日後は引き続き貴店（移管が行われた場合には、当該移管後の店舗）における財形住宅預金に預入ます。また、更新された財形住宅預金についても同様とします。

3. 支払方法

この預金は、持家としての住宅の頭金等の支払のため、私がその証明書類を持参した場合または重度障害等の場合に限って支払ってください。なお、住宅取得費用から頭金等を控除した残額についての借入れは、財形住宅預金申込書記載によることとします。

4. 私が貴行（金庫・組合）に届出の印鑑を押印した書類が事業主から貴行（金庫・組合）へ提出された場合は、私が貴行（金庫・組合）に正当に依頼したものとしてお取扱いください。

また、この預金の預入状況、残高等を貴行（金庫・組合）から事業主に通知されてもさしつかえありません。

5. この取扱いによって、万一紛議が生じましても、貴行（金庫・組合）にはいっさい迷惑をかけません。

以上

財形住宅預金申込書(控) (財産形成非課税住宅貯蓄申告書 同申込書・天引預入依頼書 控兼用)

令和 年 月 日

ふりがな 氏名				印
住所	〒 (-)	TEL (-)		
生年月日	昭・平	年	月	日 (才)

①

ご預金者用

区分	貯蓄先金融機関名			種別	預貯金 最高限度額
	所在地				
非課税扱いの申告をする最高限度額		名 称	支店		
既に非課税扱いの申告をしている最高限度額	名 称				
勤務先	所在地				
	名 称				
賃金の支払者	所在地				
	名 称				

3枚目に事業主印を押印ください。

お客様番号

財形住宅

初回預入日	令和 年 月 日			
毎月の預入日と額	日 千 円			
積立定期日	1. 5年以上とし、積立終了前に別途通知します。			
	2. 次のとおりとします。 (いざれかを お選びくだ さい。)			
	令和 年 月 日			
賞与月と その預入額	月 千 円			
	月 千 円			
支払方法 (該当に ○印)	貴行(金庫・組合)および勤務先から借入れます 勤務先から借入れるとともに貴行(金庫・組合) のあっせんにより他の金融機関から借入れます 住宅金融公庫または沖縄振興開発金融公庫 から借入れるとともに勤務先から借入れます			
この預金の 最高限度額	百万 千 円			

当金融機関の財形住宅預金をお申込みいただきありがとうございます。

★この「ご預金者用控」はご預金者申込事項「控」と一緒に大切に保管してください。

★この預金を解約される時及びお申込事項を変更される時は、上記の「お届け印」でお申し出ください。

財形住宅預金天引預入依頼書 (財産形成非課税住宅貯蓄)
(申告書勤務先控兼用)

ご事業主 殿

令和 年 月 日

ふりがな 氏名				印
住所	〒(-) TEL (-)			
生年月日	昭・平 年 月 日 (才)			

(2)

ご事業主用

区分	貯蓄先金融機関名	種別		預貯金 最高限度額
		百万	千	
非課税扱いの申告をする最高限度額	所在地			
既に非課税扱いの申告をしている最高限度額	名称	支店		
勤務先	所在地			
	名称			
賃金の支払者	所在地			
	名称			

3枚目に事業主印を押印ください。

★社員から事業主への申出事項
 私は財形住宅預金をしたいので、上記により給与から天引して預入れていただきますよう依頼いたします。
 なお、預入金額等を変更するときは、あらかじめ文書をもって届けます。

ご事業主使用欄

お客様番号

財形住宅

口座番号

初回預入日	令和 年 月 日		
毎月の預入日と額	日 千 円		
積立定期日	1. 5年以上とし、積立終了前に別途通知します。		
	2. 次のとおりとします。		
	令和 年 月 日		
賞与月とその預入額	月 千 円		
月	月 千 円		
支払方法(該当に○印)	貴行(金庫・組合)および勤務先から借入れます 勤務先から借入れるとともに貴行(金庫・組合)のあっせんにより他の金融機関から借入れます 住宅金融公庫または沖縄振興開発金融公庫から借入れるとともに勤務先から借入れます		
この預金の限度額	百万 千 円		

財産形成非課税住宅貯蓄申告書

税務署長殿

令和 年 月 日

お客様番号

ふりがな 氏名	-----	印
住所		

下記の財産形成住宅貯蓄につき租税特別措置法第4条の2第1項の規定の適用を受けたいので、この旨申告します。

区分	受入機関の営業所等	最高限度額	種別
非課税扱いの申告をする最高限度額	所在地	百万 千 円	預貯金
	名称	支店	
※既に非課税扱いの申告をしている最高限度額	名称		
勤務先	所在地		
	名称		
賃金の支払者	所在地		
	名称		
※欄に記載した事項は事実に相違ありません。		勤務先の長の印	
令和 年 月 日		印	

ご事業主経由で
金融機関に提出
してください。

③

金融機関用

受入機関の
受理日付印

財産形成非課税住宅貯蓄申込書

支店殿 令和 年 月 日

ふりがな 氏名		印
住 所		

下記の金額の財産形成住宅貯蓄につき租税特別措置法第4条の2第1項の規定の適用を受けたいので、
この旨申し込みます。

種 別	定期預金（措規3の2四）						
金 額	限	百万	千	百	十	円	

勤務先	所在地	
	名 称	

お客様番号

口座番号

金融機関に提出
してください。

④

金融機関用

財形住宅預金申込書（財形住宅預金印鑑届兼用）

殿 令和 年 月 日

ふりがな 氏名				印
住 所	〒(-) T E L (-)			
生年月日	昭・平 年 月 日 (才)			

⑤

預入銀行
支 店

財店舗限度額

百万	千	円
----	---	---

金融機関用

勤務先
名 称

私は裏面の事項を確認するとともに貴行（金庫・組合）の財形住宅預金規定にしたがって、右により財形住宅を申し込みます。

なお、この預金に関するいっさいの事項に使用する印鑑を届けます。

勤務先
名 称

(金融機関使用欄)

取扱店 店番号 店名	担当者印
------------------	------

契約の証発行日

--

	検 印	精査者印	受付者印	取引先担当者名・コード等
--	-----	------	------	--------------

お客様番号

--	--	--	--	--	--	--	--

財形住宅

口座番号

--	--	--	--	--	--	--	--

初回預入日	令和 年 月 日
毎月の預入日と額	日 千 円
積立期限日	1. 5年以上とし、積立終了前に別途通知します。 2. 次のとおりとします。 (いざれかを お選びくだ さい。)
	令和 年 月 日
賞与月と その預入額	月 千 円
	月 千 円
支払方法 (該当に ○印)	貴行（金庫・組合）および勤務先から借入れます 勤務先から借入れるとともに貴行（金庫・組合）のあっせんにより他の金融機関から借入れます 住宅金融公庫または沖縄振興開発金融公庫から借入れるとともに勤務先から借入れます
この預金の 財限度額	財百万 千 円

[ご預金者確約事項]

私は下記事項を確認するとともに、財形住宅預金規定にしたがって、財形住宅預金申込書により取扱うよう申し込みます。

1. 預入方法

この預金は、財形住宅預金申込書記載のとおり初回預入日から5年以上の期間にわたって事業主が私の給与から天引し、私に代って預入れます。ただし、金額については、財形住宅預金預入依頼書等により別段の申し出をした場合には、それによってください。

2. 継続預入の取扱い

この口座に預入れる各々の預金（利息を含む。以下「預入金額」という。）は、特に申し出をしないかぎり満期日後は引き続き貴店（移管が行われた場合には、当該移管後の店舗）における財形住宅預金に預入ます。また、更新された財形住宅預金についても同様とします。

3. 支払方法

この預金は、持家としての住宅の頭金等の支払のため、私がその証明書類を持参した場合または重度障害等の場合に限って支払ってください。なお、住宅取得費用から頭金等を控除した残額についての借入れは、財形住宅預金申込書記載によることとします。

4. 私が貴行（金庫・組合）に届出の印鑑を押印した書類が事業主から貴行（金庫・組合）へ提出された場合は、私が貴行（金庫・組合）に正当に依頼したものとしてお取扱いください。

また、この預金の預入状況、残高等を貴行（金庫・組合）から事業主に通知されてもさしつかえありません。

5. この取扱いによって、万一紛議が生じましても、貴行（金庫・組合）にはいっさい迷惑をかけません。

以上

金融機関使用欄

変更日付							
④ 店舗限度額		円		円		円	
④ 預金の④合計額		円		円		円	

(注) 新規開設時は
記入不要。